

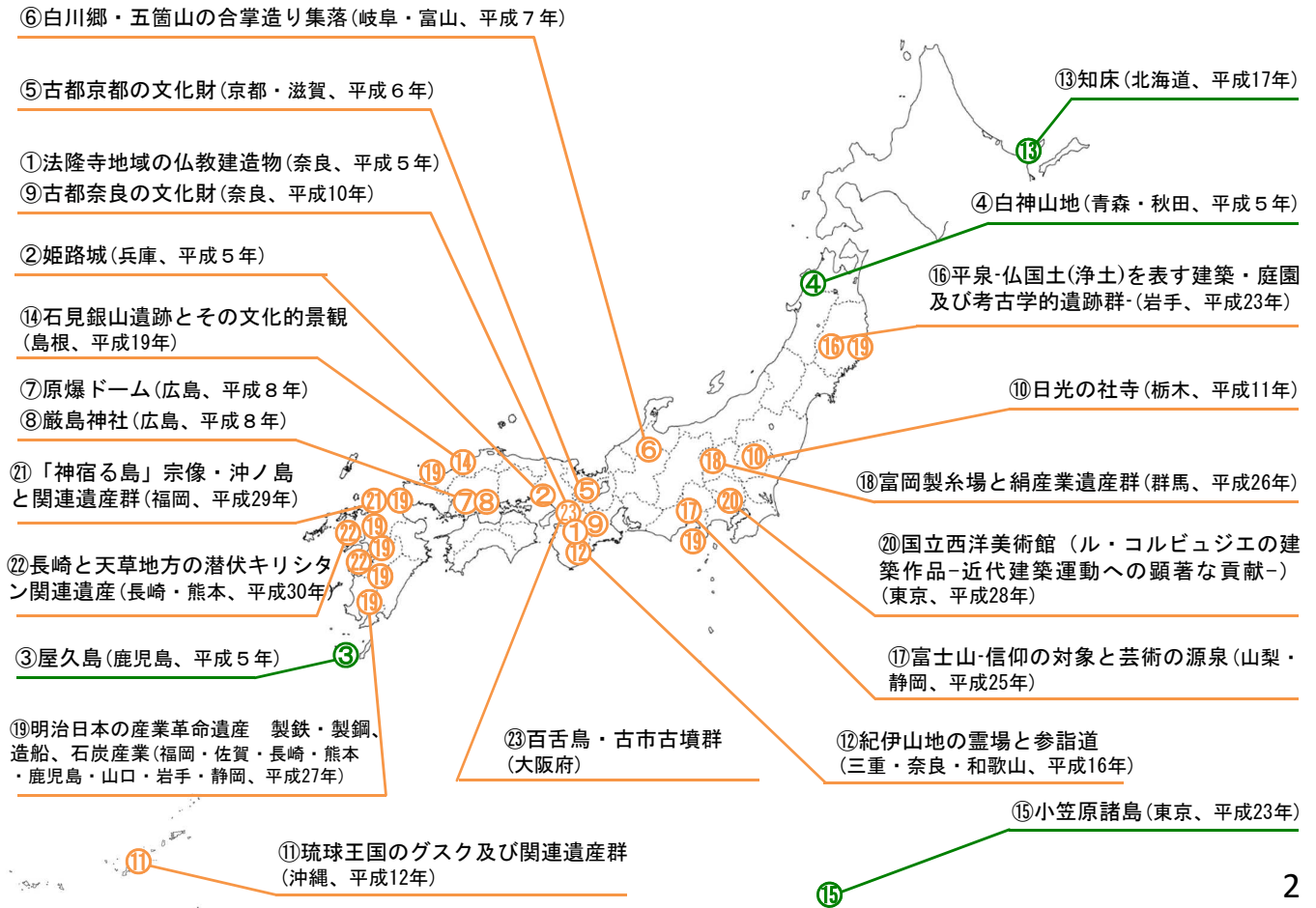
我が国における世界文化遺産を取り巻く現状と課題

1. 我が国の世界文化遺産の記載に係る状況
2. 暫定一覧表に係る状況
3. 世界遺産一覧表記載後の課題

我が国の世界遺産（文化遺産 19 件、自然遺産 4 件）

記載物件名	所在地	記載年	区分
① 法隆寺地域の仏教建造物	奈良県	H5	文化
② 姫路城	兵庫県	H5	文化
③ 屋久島	鹿児島県	H5	自然
④ 白神山地	青森県・秋田県	H5	自然
⑤ 古都京都の文化財（京都市、宇治市、大津市）	京都府・滋賀県	H6	文化
⑥ 白川郷・五箇山の合掌造り集落	岐阜県・富山県	H7	文化
⑦ 原爆ドーム	広島県	H8	文化
⑧ 厳島神社	広島県	H8	文化
⑨ 古都奈良の文化財	奈良県	H10	文化
⑩ 日光の社寺	栃木県	H11	文化
⑪ 琉球王国のグスク及び関連遺産群	沖縄県	H12	文化
⑫ 紀伊山地の霊場と参詣道	三重県・奈良県・和歌山県	H16	文化
⑬ 知床	北海道	H17	自然
⑭ 石見銀山遺跡とその文化的景観	島根県	H19	文化
⑮ 小笠原諸島	東京都	H23	自然
⑯ 平泉・仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群	岩手県	H23	文化
⑰ 富士山・信仰の対象と芸術の源泉	山梨県・静岡県	H25	文化
⑱ 富岡製糸場と絹産業遺産群	群馬県	H26	文化
⑲ 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・鹿児島県・山口県・岩手県・静岡県	H27	文化
⑳ 国立西洋美術館（ル・コルビュジエの建築作品ー近代建築運動への顕著な貢献ー）	東京都（他フランス・ドイツ・スイス・ベルギー・アルゼンチン・インド）	H28	文化
㉑ 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群	福岡県	H29	文化
㉒ 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	長崎県・熊本県	H30	文化
㉓ 百舌鳥・古市古墳群ー古代日本の墳墓群ー	大阪府	R1	文化

我が国の世界遺産（文化遺産18件、自然遺産4件）



世界遺産暫定一覧表記載リスト(文化遺産6件)

- ① 古都鎌倉の寺院・神社ほか(神奈川県)
- ② 彦根城(滋賀県)
- ③ 飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群(奈良県)
- ④ 北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群(北海道・青森県・岩手県・秋田県)
→ 令和2年1月推薦済み
- ⑤ 金を中心とする佐渡鉱山の遺産群(新潟県)
- ⑥ 平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-(拡張)(岩手県)

1. 我が国の世界文化遺産の記載に係る状況

年	記載関係	記載以外の推薦関係	暫定一覧表関係
H19/2007	「石見銀山とその文化的景観」記載		富岡、富士山、飛鳥、長崎、 コルビュジエの追加
H20/2008		「平泉」記載延期	追加記載審議結果まとめ
H21/2009		「コルビュジエ」情報照会	縄文、明治、宗像の追加
H22/2010			百舌鳥、佐渡の追加
H23/2011	「平泉」記載	「コルビュジエ」記載延期	
H24/2012			
H25/2013	「富士山」記載	「鎌倉」取下げ	
H26/2014	「富岡製糸場と絹産業遺産」記載		
H27/2015	「明治日本の産業革命遺産」記載		
H28/2016	「ル・コルビュジエの建築作品」記載	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」取下げ	
H29/2017	「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」記載		
H30/2018	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」記載		
H31/2019	「百舌鳥・古市古墳群」記載		

○グローバルストラテジーへの対応

- ・産業遺産（石見銀山、富岡製糸場、明治日本）
- ・20世紀の建築（コルビュジエ）
- ・文化的景観（石見銀山）
- ・精神文化（平泉、富士山、宗像・沖ノ島、長崎・天草）

4

○推薦資産の多様化と審査の複雑化、見解の相違

- ・「平泉」における「記載延期」勧告（H20）
→文化的景観の難しさ
- ・「コルビュジエ」における「情報照会」（H21）「記載延期」（H23）
→国際的なシリアルノミネーション（仏、日、独、スイス、ベルギー、アルゼンチン、印）
- ・「富士山」における三保ノ松原の除外勧告（H25）
→完全性への寄与の問題（富士山から45km離れている）
- ・「鎌倉」における「不記載」勧告（H25）
→国内的な価値とグローバルな価値との不整合
- ・「長崎の教会群」における推薦見直しの評価（H28中間報告）
→見解の相違（禁教期の歴史的文脈に焦点を当てた見直しへ）
- ・「宗像・沖ノ島」における4資産除外勧告（H29）
→構成資産のOUVへの貢献の課題（沖ノ島と3つの岩礁のみにOUV）

5

○シリアル・ノミネーションの厳格化

- ・「平泉」における柳ノ御所遺跡の除外（H23）
→構成資産のOUVへの貢献がより厳格に評価
- ・「長崎・天草」におけるミッドストリーム・プロセス（H28）
→各構成資産のOUVへの貢献を明確化

○海外の専門家・有識者との対話

- ・推薦する資産にも関連するテーマ別の国際会議の開催
→ 聖なる山に関する国際専門家会議（紀伊山地）、東アジアの浄土庭園に関する国際専門家会議（平泉） など
- ・推薦書作成過程におけるイコモス会員を含む海外の専門家を招聘した国際専門家会議の開催

6

2. 我が国の暫定一覧表に係る状況

○世界文化遺産暫定一覧表の追加記載に係る前回の経緯

【公募1回目】

平成18年9月 文化審議会に世界文化遺産特別委員会が設置され、自治体から公募すること等について決定。（この時点では暫定一覧表記載案件4件（うち2件は推薦中、推薦予定）

平成19年1月 自治体から提案のあった24件について、同委員会において審議の上、4件（富岡、富士山、飛鳥、長崎）を暫定一覧表に記載すべき案件として選定、その他の20件を継続審議案件として整理。（「世界文化遺産特別委員会における調査・審議の結果について」）

【公募2回目】

平成19年4月 改めて自治体からの提案を受付。

平成20年9月 自治体から提案のあった32件（新規18件、継続19件）について、専門分野ごとのワーキンググループ、同委員会における審議の上、5件（縄文、佐渡、明治日本、宗像、百舌鳥・古市）を暫定一覧表に記載すべき案件として選定、その他の27件を「世界遺産暫定一覧表候補の文化資産」として整理。（「我が国の暫定一覧表への文化資産の追加記載に係る調査・審議の結果について」）

7

平成18～20年における暫定一覧表追加記載の調査・審議の結果(概要)

暫定一覧表記載文化資産	暫定一覧表候補の文化資産	
世界文化遺産委員会報告を受け、暫定一覧表に記載すべきもの (但し、主題の強化、構成資産の選択、更なる文化財指定などが必要)	カテゴリーⅠ	カテゴリーⅡ
<p>◎「富岡製糸場と絹産業遺産群」《群馬県》</p> <p>◎「富士山」《静岡県・山梨県》</p> <p>◎「飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群」《奈良県》</p> <p>◎「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」《長崎県》</p> <p>◎「北海道・北東北の縄文遺跡群」《北海道・青森県・岩手県・秋田県》</p> <p>◎「金と銀の島、佐渡」《新潟県》</p> <p>◎「九州・山口の近代化産業遺産群」《福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・鹿児島県・山口県》</p> <p>◎「宗像・沖ノ島と関連遺産群」《福岡県》</p> <p>◎「百舌鳥・古市古墳群」《大阪府》</p>	<p>提案書に基づく一定の主題を基に準備を進めるべきもの</p> <p>提案書の基本的主題を基に準備を進めるべきもの(Ia)</p> <p>○「最上川の文化的景観」《山形県》</p> <p>○「四国八十八箇所霊場と遍路道」《徳島県・高知県・愛媛県・香川県》</p> <p>○「阿蘇」《熊本県》</p> <p>○「天橋立」《京都府》</p> <p>○「錦帯橋と岩国の町割」《山口県》</p> <p>当面、以下の主題に関する調査研究を十分に行い、主題及び資産構成に一定の方向性が見えた段階で準備を進めるべきもの(Ib)</p> <p>○ 近世の城郭と城下町関連の文化資産</p> <p>・「萩」《山口県》</p> <p>・「城下町金沢の文化遺産群と文化的景観」《石川県》</p> <p>・「松本城」《長野県》</p> <p>○ 近世の寺社とその門前町関連の文化資産</p> <p>・「善光寺と門前町」《長野県》</p> <p>○ 近世の教育資産</p> <p>・足利学校←「足利学校と足利氏の遺産」《栃木県》</p> <p>・弘道館←「水戸藩の学問・教育関連遺産群」《茨城県》</p> <p>・関谷学校←「近世岡山の文化・土木遺産群」《岡山県》</p> <p>○ 近世の街道と宿場町関連の文化資産</p> <p>・「妻籠宿・馬籠宿と中山道」《長野県・岐阜県》</p>	<p>主題の再整理、構成資産の組み換え、更なる比較研究等により、内容を大幅に見直す必要があるもの</p> <p>○「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」《北海道》</p> <p>○「松島(提案全体について)」《宮城県》</p> <p>○「水戸藩の学問・教育関連遺産群(提案全体について)」《茨城県》</p> <p>○「足利学校と足利氏の遺産(提案全体について)」《栃木県》</p> <p>○「足尾銅山」《栃木県》</p> <p>○「埼玉古墳群」《埼玉県》</p> <p>○「近世高岡の文化遺産群」《富山県》</p> <p>○「立山・黒部」《富山県》</p> <p>○「霊峰白山と山麓の文化的景観」《石川県・福井県・岐阜県》</p> <p>○「若狭の社寺建造物群と文化的景観」《福井県》</p> <p>○「(岡谷の)日本製糸業近代化遺産」《長野県》</p> <p>○「飛弾高山の町並みと祭礼の場―伝統的な町並みと屋台祭礼の文化的景観」《岐阜県》</p> <p>○「近世岡山の文化・土木遺産群(提案全体について)」《岡山県》</p> <p>○「三徳山」《鳥取県》</p> <p>○「山口に花開いた大内文化の遺産」《山口県》</p> <p>○「宇佐・国東」《大分県》</p> <p>○「竹富島・波照間島の文化的景観」《沖縄県》</p>
9件	13件	17件(14件) 8

3. 世界遺産一覧表記載後の課題

- 「世界遺産」としての保護・管理体制等
 - ・ 包括的保存管理計画等の「世界遺産」としての管理体制の整備の必要性
 - ・ (特にシリアルノミネーションにおける)複数の自治体、所有者、関係機関間の連携、協議会等の協議体制の整備・運用
- 資産の修理事業等
 - ・ 所有者の利害と文化財保護のバランス
 - ・ 海外専門家との意見の相違
- 資産の防災・防犯対策等
 - ・ 火災や自然災害への対策
 - ・ 人為的な破損への対策

○資産周辺の開発事業等

- ・構成資産、緩衝地帯、その周辺における開発事業（風力発電、大規模太陽光発電、宿泊施設、マンション等）に対する遺産影響評価（Heritage Impact Assessment:HIA）の需要
 - 世界遺産委員会からの報告要請（適切な対応が行われない場合、「危機遺産」登録、登録抹消の可能性）
 - 自治体等における経験の不足、世界遺産としてのOUVを踏まえた適切なHIAの実施や参考となるガイドライン等の必要性
- ・緩衝地帯の保護・規制の在り方

○地域コミュニティの参加等

- ・地域住民の理解の向上、地域コミュニティによる遺産の保護、情報発信、来訪者対応への参加。
- ・高齢化・過疎化による地域コミュニティの衰退・消滅の危機。
- ・資産の管理に密接に関連する地域産業の衰退

○来訪者管理等

- ・資産の特性・OUVを踏まえた中長期的な観点からの来訪者戦略・管理
 - 来訪者の増減予測、ガイダンス戦略、ビジター施設等の計画的整備
- ・海外からの来訪者の増加に伴う多言語対応の重要性。

世界遺産一覧表記載物件における課題と取組

種別	解決すべき課題	参考となり得る取組み
資産の保護管理体制等	包括的保存管理計画の未策定(法隆寺、京都等) 関係自治体協議会の未設置(京都)	包括的管理計画策定中(京都) 各構成資産レベルの保存管理計画の改定 関係自治体の連携体制を検討中(法隆寺)
資産の修理事業等	現状変更許可なしの樹木伐採等(厳島) 整備事業の考え方の海外専門家に対する説明(大阪) 生態系の変化等(琉球、石見、紀伊) 宗教活動等と文化財保護のバランス(京都、宗像)	適切な修理・整備事業(京都・延暦寺、厳島・大鳥居、富岡・製糸場、西美・前庭等) 災害復旧事業(豪雨被害、首里城火災等) 文化財指定等に向けた取組み(厳島、富岡、長崎) 整備に関する国際会議を準備(大阪) 修復材料確保のための環境整備(白川) 公有化と行政管理(紀伊、平泉)
資産の防災・防犯対策等	首里城で火災発生(琉球) 資産近傍で火災(白川) 異常豪雨による地滑り等発生 落書きによる毀損(京都)	電気設備点検実施(白川) パンフレットによる来訪者への注意喚起(白川) 防災対策状況の点検 防災事業(防火設備設置、耐震補強等) 防災訓練
資産及びその周辺の開発事業等	宿泊施設等の開発(法隆寺、奈良、京都、西美) 開発事業に対する住民反対(奈良、京都) 再生可能エネルギー施設の開発(石見、紀伊、平泉、長崎) 緩衝地帯外の工場開発(琉球) 道路や防災施設等の土木事業(日光、平泉、富士山、富岡、宗像、長崎)	HIA実施のための体制整備(奈良) HIA実施マニュアルの策定済(宗像) HIA実施のための基準等準備中(富岡、紀伊、石見、平泉、富士山、長崎、大阪) 開発事業に対しHIA実施し緩和策等を検討(奈良、平泉、宗像、長崎、西美、大阪) 再生可能エネルギー施設事業の指導要綱制定(富岡) 眺望景観保全のための事前協議義務化(京都) 開発後のモニタリング(紀伊) 緩衝地帯の拡大(平泉) 不適切工作物の撤去(琉球) ガイダンス設備設置のための社会実験(大阪)
地元コミュニティ参加等	高齢化・過疎化・空き家増加(白川、石見、長崎) 生業や土地利用の変化(紀伊)	登録周年事業の実施／準備(日光、西美／白川、琉球) 移住者募集(白川) 空き家対策を兼ねた修理・修景事業(石見) 文化財修復をきっかけに祭礼行事復活(石見) 地元住民による寺堂修理(紀伊) 地元住民による防災活動参加(京都、白川、紀伊、長崎) ガイド・清掃等のボランティア活動 子供向けの教育プログラム(白川、紀伊、石見、宗像)
来訪者管理等	信仰の場に過度の来訪者(琉球) 生活の場に配慮ない来訪者(石見) 住民・来訪者にとって適切な交通計画必要(石見) 来訪者数の登録後の急激な増加やその後の減少(富岡、石見)	ガイダンス施設・休憩施設等の整備 歴史体感プログラム(京都) ガイドによる来訪者のマナー向上(琉球、石見) 環境配慮型の交通手段の社会実験(石見) 外国人来訪者のための解説多言語化(石見、宗像等) VR等の最新技術の活用(石見)

世界遺産一覧表記載資産の保全状況の概要について
(この一年間に保全状況に関連して大きな動きのあったもの)

令和 2 年 8 月 3 日
文 化 庁

【法隆寺地域の仏教建造物】

- ・ 門前地区（緩衝地帯内）において、景観に配慮し発掘調査を行ったうえで民間宿泊施設が建設され、令和元年 9 月に開業した。
- ・ 奈良県及び斑鳩町による連携会議の設置について協議中。

【姫路城】

- ・ 平成 14 年（2002）に設置された防災施設について、令和 4 年（2022）度を目途に更新整備中。
- ・ 平成 23 年（2011）3 月に策定した特別史跡姫路城跡整備基本計画について、令和 2 年度の改定を目指して見直し中。

【古都京都の文化財（京都市、宇治市、大津市）】

- ・ 賀茂別雷神社において、社務所横の駐車場に来訪者向けの休憩施設を設置したり、神社西側の市道を拡幅したりするなど、整備に向けた手続きが進められている。
- ・ 延暦寺の建造物について、約 60 年ぶりの大規模修理が行われており、拝観者が修理現場を見学するための舞台等が設置されている。
- ・ 平成 30 年台風 21 号による被害の復旧作業が、複数の構成資産で進められている。
- ・ 仁和寺の緩衝地帯において宿泊施設の建設計画がある。地元協議会とは対話を重ね一定の合意が得られているものの、別団体から市議会に対して計画反対の請願書が提出された。
- ・ 二条城において、本丸御殿の耐震補強工事を実施している。また、茶会の再現や弓馬術を通じて武家の礼法を学ぶための歴史体感プログラムを実施し

ている。

- ・ 令和2年度末を目途に、包括的保存管理計画を策定する予定。
- ・ 令和元年12月に、持続可能な文化観光を推進させるため、世界文化遺産活性化シンポジウムを開催した。

【白川郷・五箇山の合掌造り集落】

- ・ 令和元年5月に茅葺きの国際フォーラムを受け入れ、屋根葺きワークショップを実施した。
- ・ 平成28年度に相倉集落に茅保管庫を新設、令和元年6月には上平地域にも保管庫を整備し、屋根葺き材料である小茅の増産に向けた環境を整えている。
- ・ 白川郷において、令和元年11月に資産近傍で茅葺き建物の火災が発生した。
- ・ 平成24年度に続き、令和2年度にも相倉集落の市有家屋への移住者募集を行う予定。
- ・ 史跡相倉集落及び菅沼集落の保存活用計画の改定を完了した。また、令和2年度には史跡指定50周年及び世界遺産登録25周年の記念事業を実施する予定。

【原爆ドーム】

- ・ 原爆ドーム及び平和記念公園周辺の眺望景観を保全・形成する具体的方策について、広島市景観審議会に諮問し検討を進めている。

【巖島神社】

- ・ 資産内において市民センターの建替え中でトイレの設置が完了した。また、世界遺産ビジターセンターの建設についても検討されている。
- ・ 土地の掘削、樹木の植栽又は伐採など、無断現状変更が確認された。
- ・ 過度の観光に対しては、入島・入山の制限が考えられる。
- ・ 大鳥居の破損調査を実施中。調査結果に基づき、修理計画を策定する予定。

【古都奈良の文化財】

- ・ 平城宮跡における国営公園整備事業について、第一次大極殿院の南門復原整

備工事が進められている。令和4年春に完成予定であり、その後回廊等の復原が予定されている。

- ・ 平城宮跡南側の県営公園区域（緩衝地帯）において、普及啓発促進のための歴史体験学習館の整備が計画されており、そのためのHIAが実施される予定。
- ・ 奈良公園（緩衝地帯）の吉城園周辺地区及び高畑町裁判所跡地の二地区において、宿泊施設を伴う整備事業が進められている。
- ・ 令和2年度にHIAマニュアルの策定に着手する予定。

【日光の社寺】

- ・ 平成28年度より、国土交通省日光砂防事務所が、資産となる建造物等への被害防止のため「山内地区砂防堰堤群整備事業」として大猷院沢・竜光院沢の堰堤・床固め整備等を実施している。なお、整備にあたっては事前に有識者を交えた検討会議を行い、史跡及び景観に対する影響を最小限に留めている。

【琉球王国のグスク及び関連遺産群】

- ・ 令和元年6月、座喜味城跡において大雨の影響による地すべりが発生した。
- ・ 令和元年10月、首里城跡で大規模な火災が発生した。
- ・ 座喜味城跡について、史跡の保存活用計画が令和2年3月に策定された。
- ・ 中城城跡の南西にあったホテル跡について、所有者との合意に至り撤去工事を実施中。
- ・ 令和2年には世界遺産登録20周年記念式典等を計画している他、世界遺産連携協議会による世界遺産サミットを10月に開催する予定。

【紀伊山地の霊場と参詣道】

- ・ 夏季の大雨又は台風により参詣道の崩落や倒木等が発生し、復旧作業を実施した。
- ・ 令和元年9月、緩衝地帯に所在する八鬼山荒神堂の寺堂が地域住民によって解体修理され、落成した。
- ・ HIA マニュアルを策定中。

【石見銀山遺跡とその文化的景観】

- ・ 令和元年8月から9月の豪雨により、清水谷製錬所跡石垣の一部が崩落した。
- ・ HIAの指針策定に向け体制を整えている。

【平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群】

- ・ 観自在王院跡について、整備計画の策定に向けた検討が始まった。
- ・ 令和元年の台風19号により、無量光院跡で土塁保護盛土の崩落があったほか、中尊寺境内で倒木があった。
- ・ 中尊寺金色堂について、環境調査の結果を踏まえた補修計画を検討しており、令和2年度中に策定予定。
- ・ 緩衝地帯にて計画されている「平泉の文化遺産」ガイダンス施設建設について、HIAの結果を踏まえ建設に着手した。
- ・ 中尊寺大池伽藍跡及び無量光院跡の発掘調査・修復の計画書に対し、ユネスコ世界遺産センターから追加報告を要請され、情報提供を行った。
- ・ HIAの実施基準について整理を行ったほか、拡張登録に向けた国際会議を開催するなど検討を進めた。

【富士山－信仰の対象と芸術の源泉】

- ・ 第43回世界遺産委員会において保全状況が審査され、令和2年12月に再度進捗状況をユネスコ世界遺産センターへ報告することとなった。
- ・ 山梨県において富士山登山鉄道に係る構想の検討が進められている。
- ・ 静岡県内の緩衝地帯において送電設備建替工事(令和4年度着工予定、令和9年度末竣工予定)が計画されており、HIAを実施中。
- ・ HIAの実施基準について検討が行われた。

【富岡製糸場と絹産業遺産群】

- ・ 高山社跡の緩衝地帯において、駐車場からのアクセスルート上の人道橋仮橋を本橋へ架け替える工事が行われ、令和元年度に完成
- ・ 富岡製糸場西置繭所の保存修理及び整備活用事業が令和元～2年度で終了

予定。

- ・ 藤岡市において、太陽光発電設備設置事業指導要綱を令和元年9月に施行。令和2年度に条例を制定する予定。
- ・ 群馬県立世界遺産センターが完成し、令和2年3月末に開館した。
- ・ 田島弥平旧宅の緩衝地帯内における養蚕農家群について、保存に向けた取組が進んでいる。令和元年度は一部の所有者が登録有形文化財に向けた準備を開始した。
- ・ HIA マニュアルの策定に向けた検討を進めており、令和2年度に策定予定。

【明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業】

- ・ 平成30年の第42回世界遺産委員会において決議された更なる勧告に対応するため、内閣官房と関係自治体が連携して検討を進め、令和元年11月に保全状況報告書がユネスコ世界遺産センターへ提出された。
- ・ 寺山炭窯跡において、令和元年夏季の豪雨により大規模な崩落が発生した。

【国立西洋美術館】

- ・ 平成30年の第42回世界遺産委員会の決議において、複数国にまたがる一連の構成資産が形成する顕著な普遍的価値への影響を考慮した遺産影響評価の実施等が求められ、課題への取組状況等について、令和2年12月までに、ユネスコ世界遺産センターへ提出することとなっている。
- ・ 緩衝地帯内のJR上野駅公園口前におけるJR東日本、東京都、台東区の3者による駅舎及び駅前空間整備事業が進行中である。顕著な普遍的価値に対して負の影響を与えることがないように、文化庁、国立西洋美術館とも情報共有し、事業主体の3者間で協議しながら引き続き工事が進められる。

【「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群】

- ・ 平成30年7月豪雨により、新原・奴山古墳群の13号墳及び30号墳の一部法面等の崩落が発生し、復旧事業を実施している。
- ・ 登録時の世界遺産委員会決議への対応に向けて、古代東アジアにおける航海や交流、祭祀等に係る国際検討会を実施した。

- ・ 鐘崎漁港整備事業について HIA を実施し、令和元年 8 月にユネスコ世界遺産センターへ報告した。
- ・ 宗像大社辺津宮斎館の建替えに伴い既存建物が除却され、建替え範囲の確認調査が行われた。
- ・ 令和元年 10 月より、団体や企業による遺産群の保全および価値発信に係る取組みについて保存活用協議会が認定・告知等を行う「守り伝える活動認定プログラム」が開始された。

【長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産】

- ・ 「平戸の聖地と集落」の安満岳麓における道路関連事業（トンネル工、法面工、フェンス整備）を令和元年度に完了。
- ・ 原城跡について、ガイダンス施設設置の計画があり HIA が行われている。
- ・ 長崎県内において、陸上風力発電及び洋上風力発電の設置計画があり、関係部局及び事業者と協議が行われている。
- ・ HIA の実施基準策定に係る検討が進められた。

【百舌鳥・古市古墳群】

- ・ 令和元年 7 月に世界遺産一覧表へ記載された。
- ・ 仁徳天皇陵古墳の西側緩衝地帯内に計画していたガイダンス施設設置計画が撤回された。新たな来訪者対応として、既存建物を使った展示解説施設などの整備や検討が進められている。
- ・ 仁徳天皇陵古墳付近におけるバルーンによる見学施設の運用計画が立ち上がっている。令和 2 年度に実証実験を行ったうえで、計画導入について検討される。
- ・ HIA の実施基準の検討及び構成資産の整備手法に係る検討が進められている。

世界文化遺産に係る取組・課題等の共有状況について

令和 2 年 1 0 月

文化庁文化資源活用課

1. 主管課長会議

主催：世界遺産所在自治体（持ち回り）

開催実績：平成 11 年度以降 23 回開催

概要：参加都道府県が事業の共催等を通して相互の交流及び連携を円滑に進め、効果的な事業展開を図ることにより、世界遺産の保護・継承に寄与するもの。

2. 世界遺産研究協議会

主催：東京文化財研究所

開催実績等：平成 29 年度以降 3 回開催

概要：世界遺産の制度と最新の動向に関する情報提供、意見交換するもの（都道府県及び市町村担当者及び関係省庁等の関係者が参加。）

3. 世界遺産サミット

主催：(一社)「世界文化遺産」地域連携会議、自治体（持ち回り）、公益社団法人日本観光振興協会

開催実績等：平成 26 年度以降 6 回開催

概要：世界遺産の保全や観光面における活用について意見交換し、地域間の連携を深めるとともに、世界遺産の魅力を広く発信するもの。（世界遺産が所在する自治体の首長等が参加。）

4. その他

随時、調査官からの情報提供、文化庁への問合せに対する回答を通じて世界文化遺産に係る取組・課題等の共有を行っている。

